

平和祈念事業アドバイザーボード（第9回）議事要旨

1 日 時：平成24年11月9日（金）14：00～16：00

2 場 所：農林水産省 三番町共用会議所 A会議室

3 出席者：（委員）

◎ 亀井 昭宏（早稲田大学名誉教授）

○ 杉浦 力（財団法人能率増進研究開発センター理事長）

黒沢 文貴（東京女子大学現代教養学部国際社会学科国際関係専攻教授）

田久保忠衛（杏林大学名誉教授）

堀川 末子（弁護士）

[敬称略、◎は座長、○は座長代理]

（総務省）

田家 修 官房審議官

加瀬 徳幸 特別基金事業推進室長

佐藤 紀明 官房参事官

4 議事次第

（1）「平成24年度業務実績（見込み）報告」についての説明

（2）「中期事業計画の提案」についての説明

5 議事要旨

（1）「平成24年度業務実績（見込み）報告」についての説明

資料に基づき、24年度事業者から「平成24年度業務実績（見込み）報告」について説明が行われた。

（2）「平成24年度平和祈念事業委託業務のポイント」についての説明

資料に基づき、24年度事業者から「中期事業計画の提案」について説明後、意見交換が行われた。

委員の主な発言等は以下のとおり。

○ 地方巡回展について、パネル展示が中心であり、若い人にとっては、映像端末等を使用して、触れる展示を行うなど、別のツールを使ったアプローチが必要ではないか。迫力やダイナミックさが増すように感じる。

- 地方巡回展について、映像や音声、見せ方などを含めて、パッケージの中身を年々充実させていかないといけないのではないか。
- インターネットについて、今後の重要性がますます高くなってきている。資料館のホームページのヒット数は大変多いようなので、来館促進における具体的な効果を調べてもよいのではないか。
- 資料館のホームページについて、ターゲットになりやすいテーマということもあり、改ざん等のサイバー攻撃に対する防御態勢をきちんと構築してもらいたい。
- 広報物について、個人情報扱う場合は、取り扱い及び管理をさらに徹底してもらいたい。
- 広報物について、(総務省委託)という文字は、広報物の内容によって使い分けてもよいのではないか。その方が都合のよい時もある。
- 夏休みのイベントについて、工夫されていて非常によいが、子どもだけを対象とするのではなく、色々と考えて、対象別に企画したらもっとよくなるのではないか。
- 語り部について、養成も必要だが、本人が語る映像は非常に迫力があるため、映像で残すことが必要。何らかの形で公開してもらいたい。

〔 本議事要旨は、総務省大臣官房総務課特別基金事業推進室において作成した速報版であり、今後、修正する場合がある。 〕